

※ 応援団登録していただいた方には郵便又はメールでお届けしています。

令和元年12月発行

広尾っ子応援団だより (No.16)

広尾っ子応援団本部事務局（教育委員会社会教育課）電話 01558-2-0181



地域・保護者の方の協力をお願いします…広尾小

各学校ではすでに3学期の準備が始まっています。休み明けの授業に関して、広尾小学校から「支援要望」が出されています。

協力できる方、何か情報をお持ちの方、より詳しい話をお聞きになりたい方は学校CS担当又は社会教育課CSコーディネーターまでご連絡ください。

広尾っ子応援団では、先生方の「主体的・対話的で深い学び」を目指した授業改善を支えています。

【解説】主体的・対話的で深い学び
予測が難しい社会の変化に対応できる資質・能力を育成するため、新学習指導要領では、「主体的な学び」、「対話的な学び」、「深い学び」という3つの観点で授業改善を求めています。

授業に協力して下さる地域の方々のご存在など学校外の教育環境は、先生方の授業改善の大きな支えになります。

学校	学年教科等	時期	支援を受けたい内容
広尾小	3年社会	1月	「古い道具と昔の暮らし」の授業で、ランプ、かまど、洗濯板、火のし、炭火アイロンなどの使い方や、その頃の生活を聞かせてください。（昭和初期）
	5年体育	1月～2月	スケート靴を履くときの手伝いや、励ましの声掛けなどをお願いします。
			スケート滑走の指導ができる方の協力をお願いします。
5年図工	1月～2月	インクを塗ったり、刷り取り紙を合わせたり、バレンで刷ったり、子どもたちの版画刷りのお手伝いをお願いします。	

◎ 聞いてもらうだけで学習意欲が高まる！！・・・広尾小学校2年算数「掛け算九九」

広尾小学校から「子どもたちの掛け算の九九の暗唱を聞いてほしい。」という「支援要望」が挙げられていました。



12月17日（火）丸山5丁目町内会の辻田さんご夫妻とCSコーディネーターが2年生の算数の授業に参加しました。児童は暗唱する段を宣言し、その段の1から順に上がって、次に9から逆に下がります。みんな真剣でした。

放課後読書等ふれあい広場…2学期実施日数23日、利用者数、児童51名、大人6名

10月にスタートした「ふれあい広場」ですが、最近は毎回2～4名の児童が放課後の時間を過ごしています。

宿題や自学自習をした後、ふるさとかるた、トランプ、熟語遊び、プログラミングロボット、パズル（ハノイの塔、立体4目並べ）、卓球などを楽しんでおり、先生方も時々来られて声をかけてくれます。先日は、図書館の協力で紙芝居や読み聞かせを行いました。

3学期は1月21日（火）からスタートします。



自学自習に励む子どもたち



図書館職員三崎さんの紙芝居



CSの資料やメッセージの掲示

応援メッセージが届いています

平成30年9月6日（木）の胆振東部地震でブラックアウトが起きた時のことです。

周りの様子が気になり外に出ると、「こんばんわ」と暗闇の向こうから女の子の声。

目を凝らすと向かいの家のお姉ちゃんでした。

「おばさん、星がきれい。」

見上げると普通の広尾では見られない満天の星です。

夜空一面に、美しく光り輝く星々を眺めながら、お姉ちゃんの純粋な感性にしばらく感心していました。

1年も前のことですが、忘れられません。

町内 70代女性

広尾っ子応援団本部教育講演会

「応援メッセージ」活動の基にある「自己肯定感の育成」をテーマにした講演会を行います。広尾っ子応援団本部の取組も紹介します。多くの方の参加をお願いします。

① 令和元年12月27日（金）19：00

講師 NPO法人地域生活支援ネットワークセンター代表理事
日置 昌世 氏

演題 子どもの自己肯定感と地域のかかわり

② 令和2年1月24日（金）19：00

講師 株式会社ゆめかな代表取締役
石川 尚子 氏

演題 広尾っ子の自己肯定感をはぐくむために

※ 会場はどちらも「広尾町コミュニティセンター大ホール（2階）」です。

※ 事前の申し込みは必要ありません。直接会場にお越しください。